

長久手市行政評価
(平成27年度実施事業外部評価)

第4回

資料

【日時】

- | | |
|-----|--------------------------|
| 第1回 | 平成28年9月23日(金) 午前9時30分～正午 |
| 第2回 | 平成28年9月25日(日) 午前9時30分～正午 |
| 第3回 | 平成28年9月26日(月) 午後2時～4時30分 |
| 第4回 | 平成28年9月29日(木) 午前9時30分～正午 |

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

目 次

スケジュール等について…………… P 1～2

長久手市行政評価の概要…………… P 3～4

【外部評価事業説明資料】

地域福祉推進事業（担当課：福祉施策課）…………… ⑦

ごみ啓発事業（担当課：環境課）…………… ⑧

スケジュール等について

第1回（9月23日（金））

【タイムスケジュール】

| 時 間 | 内 容 |
|-------------|----------------------|
| 9:30～9:45 | あいさつ、説明 |
| 9:45～10:40 | 行政改革推進事業 [担当課：行政課] |
| 10:40～10:45 | 講評 |
| 10:45～11:00 | 休憩 |
| 11:00～11:55 | 生涯学習推進事業 [担当課：生涯学習課] |
| 11:55～12:00 | 講評 |

第2回（9月25日（日））

【タイムスケジュール】

| 時 間 | 内 容 |
|-------------|----------------------|
| 9:30～ 9:45 | あいさつ、説明 |
| 9:45～10:40 | 中央図書館事業 [担当課：中央図書館] |
| 10:40～10:45 | 講評 |
| 10:45～11:00 | 休憩 |
| 11:00～11:55 | 農業振興事業 [担当課：みどりの推進課] |
| 11:55～12:00 | 講評 |

第3回（9月26日（月））

【タイムスケジュール】

| 時 間 | 内 容 |
|-------------|------------------------|
| 14:00～14:15 | あいさつ、説明 |
| 14:15～15:10 | 公共交通事業 [担当課：経営企画課] |
| 15:10～15:15 | 講評 |
| 15:15～15:30 | 休憩 |
| 15:30～16:25 | 消防団活性化事業 [担当課：消防本部総務課] |
| 16:25～16:30 | 講評 |

第4回（9月29日（木））

【タイムスケジュール】

| 時 間 | 内 容 |
|-------------|----------------------|
| 9:30～ 9:45 | あいさつ、説明 |
| 9:45～10:40 | 地域福祉推進事業 [担当課：福祉施策課] |
| 10:40～10:45 | 講評 |
| 10:45～11:00 | 休憩 |
| 11:00～11:55 | ごみ啓発事業 [担当課：環境課] |
| 11:55～12:00 | 講評 |

【各事業の外部評価の進行】

| 所要時間 | 内 容 |
|------|------------------|
| 15分 | 業務担当課からの事業概要説明 |
| 40分 | 外部評価委員による事業ヒアリング |
| 5分 | まとめ・講評 |

【外部評価実施者】

長久手市行政改革推進委員会委員

| | 氏名 | 所属 | 実施日 |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 学識経験者 | (会長) 和泉 潤 | 名古屋産業大学教授 | 9月23日、9月29日 |
| | 中島 美幸 | 愛知淑徳大学講師 | 9月25日、9月26日 |
| | 杉山 知子 | 愛知学院大学准教授 | 9月25日、9月26日 |
| 企業・団体 関係者 | 塚田 敏彦 | ㈱豊田中央研究所 | 9月23日、9月26日 |
| | 下崎 一洋 | 日東工業(株) | 9月23日、9月29日 |
| | 江頭 隆行 | 連合愛知尾張東地域協議会 | 9月25日、9月29日 |
| | 高野 晃二 | 地縁団体 | 9月25日、9月29日 |
| 公募委員 | 山口 秋男 | 公募委員 | 9月25日、9月26日 |
| | 島田 智子 | 公募委員 | 9月23日、9月29日 |
| | 山元 眞一 | 公募委員 | 9月23日、9月26日 |

長久手市行政評価の概要

行政評価とは

行政評価とは、長久手市民の福祉の向上及び満足度の高い行政を目指すため、「行政の行っている様々な仕事は、その費用に見合うだけの効果（成果）を出しているのか」、「無駄や重複になっている部分はないのか」、「特定の受益者にかたよっていないか」などといった視点から行政の活動を見直し、事業の進め方を改善していくとともに、実施した事業について、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的とした取組です。

長久手市の行政評価では、業務担当課が自ら行う内部評価と市職員以外の行政改革推進委員による外部評価を実施することとしています。外部評価を実施し、市職員以外の視点からの意見を加えることで、行政評価の客観性と透明性を確保することに努めています。

※外部評価は事業仕分けではありません。

外部評価は、外部の客観的な評価を行い、市職員では気づかない視点を評価に加えることを目的に実施しています。

今後は、内部評価、外部評価による行政評価の結果をもとに、業務担当課が業務改善に努めていきます。

事業の評価

○事業評価

事業の評価は、「(成果指標等の) 目標達成状況」及び「事務事業全体を見た課題」により評価しています。

○事務事業評価

妥当性、達成度、効率性、公平性及び協働余地の5つの視点からそれぞれ3段階で評価し、今後の方向性として、以下を内部評価として示しています。

「拡充」

「継続」

「改善・見直し」

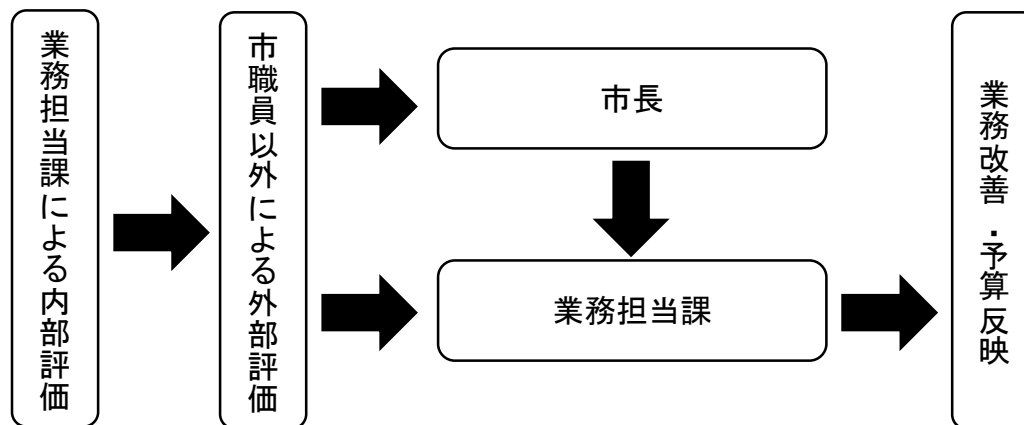
「縮小」

「休・廃止」

今後の活用

外部評価の結果が、そのまま市の最終判断となるものではありません。内部評価の結果も含め、行政評価の結果を市長に報告し、それをもとに業務担当課が業務改善を行い、次年度以降の予算要求に反映させます。

(行政評価イメージ)



傍聴される皆さまへ

- 1 傍聴はお静かにお願いします。会場の出入りは自由となっていますが、審議の妨げにならないようにお願いします。
- 2 限られた時間内で円滑に進行させるため、係員の誘導・指示があった場合は従ってください。
- 3 傍聴者からのご意見やご質問は、受け付けられません。
- 4 内容に対する賛成・反対の表明や拍手はしないでください。
- 5 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- 6 会場での録画・録音や撮影については、ご遠慮ください。
- 7 手荷物・貴重品などの管理は、各自でお願いします。
- 8 会場内でのお食事は、ご遠慮ください。
- 9 その他、審議の妨げになる行為はしないでください。

※ 以上の事項に違反された場合は、退場していただくことがあります。

【アンケートについて】

今後の取組の参考とさせていただくため、アンケート用紙（机上配布した「外部評価アンケート用紙」）にご意見・ご感想をご記入いただき、お帰りの際に出入口横の回収箱へ投函してください。

以上ご協力をお願いします。

⑦

地域福祉推進事業

【福祉施策課】

資料

外部評価実施日：平成28年9月29日（木）

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

| | | | | | | |
|------|----|---|-----|----------|------|-----------|
| 事業番号 | 36 | - | 事業名 | 地域福祉推進事業 | 担当部課 | 福祉部 福祉施策課 |
|------|----|---|-----|----------|------|-----------|

| | | | | | | |
|------|--------------|--------|----|--------------------------------|--|--|
| 基本情報 | 総合計画 | 基本方針 | 3 | 人がいきいきとつながるまち | | |
| | | 分野別項目 | 6 | 地域で支え合う福祉の仕組みをつくる | | |
| | | 施策の進め方 | F2 | 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～ | | |
| | まちづくり 行程表 | フラッグ | | | | |
| | | 政策分類 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|---------------|--|----|---|--|--|
| 事業目的等 | 事業内容 | (どのような事業なのか) ①地域福祉推進事業：新施策の調査研究として、福祉自治体ユニットへの参加、体験研修を実施している。 ②社会福祉協議会補助事業：長久手市社会福祉協議会に対して、地域に根ざした地域活動を実施するため補助金を交付している。 ③支え合いマップ策定事業：市民が中心となり、支え合いマップづくりを行う。 | | | | |
| | 事業対象 | (誰、何を対象にしているか) 市民、事業者、市職員 | | | | |
| | 事業意図 | (対象をどのような状態にしたいか) ・高齢者をはじめ市民が自分の住む地域の支えが必要な人を把握し、地域の市民で問題解決を図れるようにしていく。 ・高齢者をはじめ奉仕活動や市民活動を行うことにより、地域の支えの担い手となることにより居場所と役割を与え、活動することにより、健康増進、維持を図る。 | | | | |
| | 事業を構成する事務事業 | ① 地域福祉推進事業 | 継続 | ④ | | |
| | ② 社会福祉協議会補助事業 | 継続 | ⑤ | | | |
| | ③ 支え合いマップ策定事業 | 継続 | ⑥ | | | |

| コスト推移 | 項目 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-------------|--------|----|----|------|------|------|---------|
| | 事業費(A) | 千円 | | 予算 | / | / | / |
| 決算 | | | | / | / | / | 98,929 |
| 人件費(B) | 千円 | | 決算 | / | / | / | 16,040 |
| 総コスト(A)+(B) | 千円 | | 決算 | / | / | / | 114,969 |

| 成果推移 | 成果指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | |
|---|---------------|----|----|------|------|------|------|------|--|
| | A 支え合いマップ策定事業 | 箇所 | | 目標 | | | 4 | 6 | |
| | | | | 実績 | | | 4 | 6 | |
| | B | | | 目標 | | | | | |
| | | | | 実績 | | | | | |
| C | | | 目標 | | | | | | |
| | | | 実績 | | | | | | |
| 【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) | | | | | | | | | |
| A 事業実施箇所数が地域の支えの担い手の拠点の数であるため、実施箇所の増減により進捗状況の管理を行う。 | | | | | | | | | |
| B | | | | | | | | | |
| C | | | | | | | | | |

| | | |
|------|-----------------------|---|
| 環境変化 | 他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 | <ul style="list-style-type: none"> ・支え合いマップ策定事業：近隣市町での取組はない。 ・ボランティアポイント：豊明市、日進市、東郷町実施。 |
|------|-----------------------|---|

| | | |
|----|-------------|--|
| 評価 | 目標達成状況 | (成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果目標を達成している。 |
| | 事務事業全体を見た課題 | (構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 地域福祉推進事業を構成する3つの事務事業(①地域福祉推進事業、②社会福祉協議会補助事業、③支え合いマップ事業)を包括しているが、①、②および③は事業の内容趣旨が異なるため、別事業とされたい。 |

| | |
|--------|--|
| 今後の方向性 | (事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域のネットワークづくりや住民同士の支援の活動の核となる、支え合いマップづくりを地域住民が自主運営できるように支援していく。 |
|--------|--|

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 地域福祉推進事業

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 番号 | ① | 事務事業名 | 地域福祉推進事業 | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

1. 事務事業の目的

| | |
|-------|---|
| 対象・手段 | (誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 職員が、新しい福祉施策を創造するための調査研究として、福祉自治体ユニットへの参加、体験研修を実施する。 |
| 意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 新施策の調査研究を行い、事業化していく。 |

2. コスト推移

| 項目 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|----|----|------|------|------|-------|
| 事業費 | 千円 | 予算 | | | | 3,026 |
| | | 決算 | | | | 2,867 |

3. 活動推移

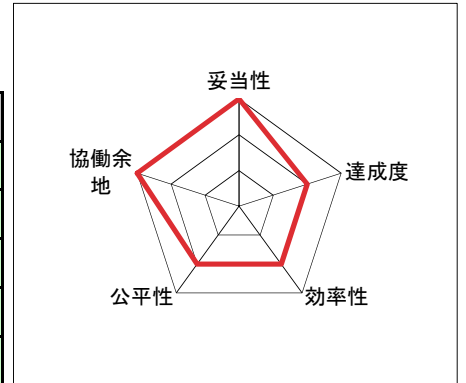
| 活動指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|------|----|----|------|------|------|------|------|
| 体験研修 | 開催 | 目標 | | | | 1 | |
| | | 実績 | | | | 1 | |
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |

4. 事務事業を取り巻く環境変化

| |
|------------------------|
| (制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) |
|------------------------|

5. 評価

| 項目 | 評価 |
|------|----|
| 妥当性 | 3 |
| 達成度 | 2 |
| 効率性 | 2 |
| 公平性 | 2 |
| 協働余地 | 3 |



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

国の最新施策等情報を得て、本市の福祉施策策定に活用するため、積極的に参加する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|-------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 事業名 | 地域福祉推進事業 | | | | | | | | | | |
| 番号 | ② | 事務事業名 | 社会福祉協議会補助事業 | | | | | | | | |

1. 事務事業の目的

| | |
|-------|--|
| 対象・手段 | (誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市社会福祉協議会に対して、地域に根ざした地域活動を実施するため運営費の一部を補助金として交付する。 |
| 意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 社会福祉協議会を支援し、市の福祉施策と連携して事業を実施することにより、様々な福祉ニーズに対応し、地域住民一人ひとりが、住み慣れたまちで安心して自分らしく暮らすことができる。 |

2. コスト推移

| 項目 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|----|----|------|------|------|--------|
| 事業費 | 千円 | 予算 | | | | 97,591 |
| | | 決算 | | | | 94,639 |

3. 活動推移

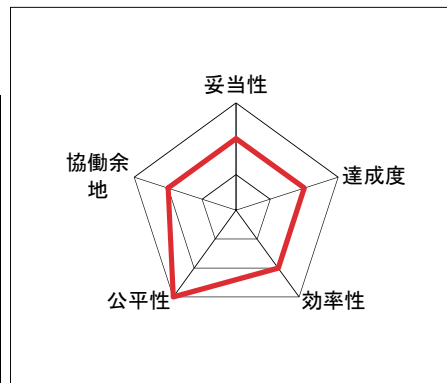
| 活動指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|------|----|----|------|------|-------|-------|------|
| 会員数 | 人 | 目標 | | | 7,500 | 7,600 | |
| | | 実績 | | | 7,552 | 7,347 | |
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |

4. 事務事業を取り巻く環境変化

| |
|------------------------|
| (制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) |
|------------------------|

5. 評価

| 項目 | 評価 |
|------|----|
| 妥当性 | 2 |
| 達成度 | 2 |
| 効率性 | 2 |
| 公平性 | 3 |
| 協働余地 | 2 |



6. 今後の方向性

| |
|----|
| 継続 |
|----|

【コメント】

| |
|--|
| (改善の方法、今後の具体的展開など) 会員数の減少は、運営費の減少につながるため、事業内容に見合った会員数の確保ならびに自主財源確保の努力を図るよう依頼する。 |
|--|

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

| | | | | | | | | | | | |
|-----|----------|-------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 事業名 | 地域福祉推進事業 | | | | | | | | | | |
| 番号 | ③ | 事務事業名 | 支え合いマップ策定事業 | | | | | | | | |

1. 事務事業の目的

| | |
|-------|--|
| 対象・手段 | (誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民が中心となり、支え合いマップを作成する。 |
| 意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 支え合いの必要性を理解して、地域のつながりを築く。 |

2. コスト推移

| 項目 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|----|----|------|------|------|------|
| 事業費 | 千円 | 予算 | | | | 451 |
| | | 決算 | | | | 451 |

3. 活動推移

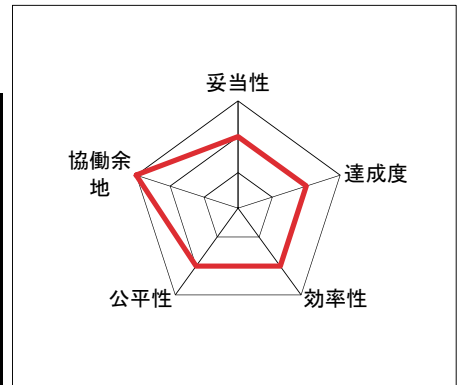
| 活動指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|-------|----|----|------|------|------|------|------|
| マップ策定 | 箇所 | 目標 | | | 4 | 6 | |
| | | 実績 | | | 4 | 6 | |
| | | 目標 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |

4. 事務事業を取り巻く環境変化

| |
|------------------------|
| (制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) |
|------------------------|

5. 評価

| 項目 | 評価 |
|------|----|
| 妥当性 | 2 |
| 達成度 | 2 |
| 効率性 | 2 |
| 公平性 | 2 |
| 協働余地 | 3 |



6. 今後の方向性

| |
|----|
| 継続 |
|----|

【コメント】

| |
|--|
| (改善の方法、今後の具体的展開など) 現在、行政と一緒に支え合いマップづくりを行っている地域が、最終的に自主的にマップづくりが行えるよう支援していく。 |
|--|

地域福祉推進事業について (参考資料)

① 地域福祉推進事業

① 地域福祉推進事業

目的

介護・医療をはじめとする福祉制度の動向や課題について、会議、勉強会、情報交換等への参加、先進地での取組を実際に体験することで、医療費の削減、子育て支援、介護保険制度改正等に伴う検討や新しい福祉施策づくりに活用。

福祉制度の動向や課題(例)

- 介護保険制度の改正に伴う、新しい総合事業の生活支援体制整備づくりの検討
- 市民が健康で自分らしく暮らし続けられるよう市民活動を推進していくための事業の策定

【活動内容】

- ・福祉自治体ユニット出席
- ・「やねだん故郷創生塾」参加
- ・先進地視察

【実績】

- ・ベンチマーク調査
- ・スマイルポイント事業実施
- ・多世代交流事業の検討開始

② 社会福祉協議会補助事業

② 社会福祉協議会補助事業

社会福祉協議会とは？



イメージキャラクター
福えもん

地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、以下の事業を実施

(社会福祉法第109条)

- 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- 上記の事業のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

長久手市社協3つの重点事業

- (1) 地区社協事業
- (2) 見守りサポーター ながくて養成事業
- (3) 地域交流のつどい・サロン活動助成事業

2

② 社会福祉協議会補助事業

(1) 地区社協事業 (平成27年度～)

「どこに相談したらいいのかわからない」と悩んでいる人などの、早期発見、対応ができる地域をつくる。

【組織】

- 運営委員会(月1回開催)
コミュニティ・ソーシャルワーカー(社協職員)が中心となり、民生委員児童委員、自治会連合会代表で構成
- テーマ部会
認知症予防、閉じこもり・ひきこもり防止、子育て不安軽減などのテーマごとに部会を設置し、地域住民が参加する様々な活動を展開

【活動内容】

| 講話と相談会 | 福祉課題に関する意見交換 | テーマに関するチラシ作成と配布 |
|---|-----------------|---|
| ・地域に存在する福祉課題を知ること、早期発見、早期対応の大切さを地域で共有 ・福祉課題について偏見をなくし、相談しやすい地域を目指す | ・地域でできることを考えていく | ・相談窓口を知らなかった方、困っているけど相談できずにいる方、サービスを知らない方に情報を届けたい |

【実績】 3か所 (北小学校区、西小学校区、市が洞小学校区)

3

② 社会福祉協議会補助事業

(2)見守りサポーター ながくて養成事業 (平成25年度～)

困っている方の早期発見を担う「地域のアンテナ」役を養成する。

【サポーターの種類と活動内容】

初級

・あいさつ、声かけが中心的活動。困っている方を発見した時は、社協や民生委員に連絡します。

中級

・地域のサロン活動の支援や地区社協のテーマ部会員として活動します。

上級

・地域で見守りが必要な方を訪問・声かけを行ったり、地区社協のテーマ部会の中心として活動します。

【平成27年度 養成実績】

| 講座 | 回数 | 人数 | 平成25年度からの累計 |
|----|----|------|-------------|
| 初級 | 9回 | 157人 | 483人 |
| 中級 | 2回 | 51人 | 83人 |
| 上級 | 1回 | 15人 | 36人 |



養成講座風景

4

② 社会福祉協議会補助事業

(3)地域交流のつどい・サロン活動助成事業 (平成25年度～)

地域に居場所ができることで、閉じこもり・孤立の防止、健康増進等になるよう、サロンの立ち上げ・運営を行う地域住民主体の団体に対する助成金交付、運営支援を行う。

高齢者サロン



子育てサロン



【内容(助成)】 立ち上げ時から自主的運営が軌道にのるまでの間、最大3年間助成。

1年目 年間 60,000円
2年目 年間 48,000円
3年目 年間 30,000円

【実施か所数】

平成27年度 32か所 (平成26年度 26か所)

※32か所の校区別内訳

西小学校区8
東小学校区6
長久手小学校区5
南小学校区5
北小学校区4
市が洞小学校区4

5

③ 支え合いマップ策定事業

③ 支え合いマップ策定事業

○目的

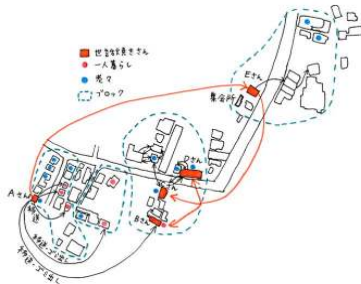
住民が主体となって、ご近所にどんな困っている人がいるのか、どのような人のつながりがあり、支え合いが行われているのかを話し合い、地域の福祉の課題を共有することで地域の見守り体制の充実を目指す。

○内容

支え合いマップづくり



地域の課題を地域の人が見つ
け、解決策を考える



地域の絆



地域の見守り体制づくり

6

③ 支え合いマップ策定事業

○活動内容

地域の話合いを継続する中で、見えてきた課題に対し、様々な取り組みを行っている。

(1) 空き巣が多い

防犯講習会、防犯パトロール、防犯ポスターづくりを実施。

(2) 引きこもりがちな高齢者が多い

お花見、お月見どろぼうなど地域で交流できる催し物を開催。

(3) 近所に気になる方がいる

認知症の母と娘との二人暮らし。地域の方が気遣うが、娘に拒絶され、その後、母は亡くなったが、地域として何ができたのかを参加者で考えた。



○実施か所数

平成27年度 6地区（平成26年度 4地区）

檀木・下山地区、桜作地区、岩作桃ノ木洞・権代地区、
戸田谷・氏神前地区、上川原地区、塚田・平池地区

7

地域福祉推進事業

平成28年度外部評価
福祉部福祉施策課

1 事業概要

◆事業の名称

地域福祉推進事業

◆事業を開始した年度

- ①地域福祉推進事業（平成24年度）
- ②社会福祉協議会補助事業（昭和62年度）
- ③支え合いマップ策定事業（平成26年度）

◆事業の開始の背景、経緯等

- ①地域福祉推進事業
今後の少子高齢・人口減少社会へ対応できる施策を検討するため、福祉行政推進のための政策研究、相互連携を図ることを目的とした市町村長をメンバーとする組織である一般社団法人 福祉自治体ユニットに現市制発足時に加入。
- ②社会福祉協議会補助事業
社会福祉法人 長久手町社会福祉協議会（当時）の設立当初から、行政と協働として地域の福祉ニーズに取り組み公益性、公共性の高い団体として、その運営・事業に要する費用を補助。
- ③支え合いマップ策定事業
『地域福祉計画』の基本施策である「お互いを知り合える地域づくり」に基づき、地域での助け合い、支えあいの土壌を形成するツールとして事業化。

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

①地域福祉推進事業

- (1) 福祉自治体ユニット・・・福祉自治体ユニットに加入し、各会合等に市長はじめ関係職員が出席。
- (2) 職員体験研修・・・先駆的な取組を行う施設等における体験研修に職員が参加。

②社会福祉協議会補助事業

社会福祉法人 長久手市社会福祉協議会に対し補助金を交付。

③支え合いマップ策定事業

地域の住民による支え合いマップづくりを支援。

3(1) 事業目的等

◆事業内容（どのような事業なのか）

市政方針である 一人ひとりの幸福度が高い「日本一の福祉のまち」を目指し、

- ・新たな課題に対応した事業創設のための取組（会合や体験研修への参加）
- ・地域福祉推進のため、地域に根ざした活動等に対する補助
- ・住民による地域の体制づくり

などを実施。

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

住民、社会福祉協議会、福祉部職員

3(2) 事業目的等

◆事業意図（対象をどのような状態にしたいか）

本事業の推進により、主に、住民が自分の住む地域で、支えの必要な人を把握し、地域で見守っていく地域づくりを目指す。

◆事業を構成する事務事業

- ① 地域福祉推進事業
- ② 社会福祉協議会補助事業
- ③ 支え合いマップ策定事業

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】

◆事業を構成する事務事業

- ① 地域福祉推進事業

◆目的（対象・手段、意図）

介護・医療をはじめとする福祉制度の動向や課題について情報収集し、制度改正等に伴う検討や新しい福祉施策づくりに活用するため、会議、勉強会、情報交換会等に参加したり、先進地での取組を実際に体験する。
（1）福祉自治体ユニット
（2）職員体験研修の実施

◆事務事業の活動状況

- （1）福祉自治体ユニット
福祉自治体ユニット総会に市長ほか担当職員1名が参加、他1回。
- （2）職員体験研修の実施
故郷創生塾「やねだん」の研修カリキュラムに職員3名が参加。

4 事務事業の評価・今後の方向性【事務事業①】

◆事務事業の評価



◆事務事業の今後の方向性

継続

◆事務事業の評価に対するコメント

情報収集、意見交換の会合や体験研修への参加が、直ちに新しい施策の企画、立案、事業化につながるものではないが、こうした機会を増やしていくことで、職員一人ひとりの見識を高め、ひいては行政運営の発展に寄与することから、積極的に機会を設けていく。

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業②】

◆事業を構成する事務事業

② 社会福祉協議会補助事業

◆目的（対象・手段、意図）

長久手市社会福祉協議会が社会福祉法に規定する事業（以下参照）を実施するために必要な経費を補助

- ・社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
- ・社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
- ・社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成
- ・そのほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発展を図るために必要な事業

◆事務事業の活動状況

- ・小学校区単位を活動範囲とする「地区社協」を設置し、CSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）によるきめ細やかな相談業務の実施。
- ・高齢者等の憩いの場となる「サロン」の設置・運営支援など
- ・「見守りサポーターながくて」の養成

4 事務事業の評価・今後の方向性【事務事業②】

◆事務事業の評価



◆事務事業の今後の方向性

継続

◆事務事業の評価に対するコメント

- ・地域福祉の推進に大きく寄与しているものの、その活動が住民に十分浸透していない部分もあり、会員数の減少が見られる。
- ・また、既存事業の見直しや自主財源の確保に努め、経営の健全化、安定化を図っていく必要がある。

4 事務事業の目的・活動状況【事務事業③】

◆事業を構成する事務事業

③ 支え合いマップ策定事業

◆目的（対象・手段、意図）

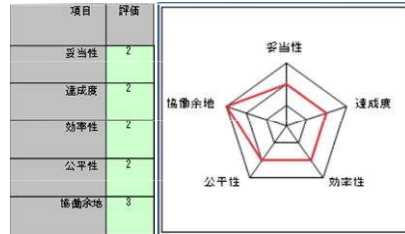
住民が集まり、地域の課題が「どこに」あるか、「困っている人は誰とつながりがあるか」などを話し合い、実際の地図に書き込んでいくことで、地域の課題を把握し、地域で見守っていく気運を高める。

◆事務事業の活動状況

6地区で実施。
榎木・下山地区、後山・桜作地区、岩作桃ノ木洞・権代地区、戸田谷・氏神前地区、上川原地区、塚田・平池地区

4 事務事業の評価・今後の方向性【事務事業③】

◆事務事業の評価



◆事務事業の今後の方向性

継続

◆事務事業の評価に対するコメント

- ・住民が中心となっていく事業であることから、協働は達成できている。
- ・市の関与が無くなることで、マップ策定が途切れることのないよう、一定期間は支援を行う必要がある。

5 コスト

◆平成27年度事業費

98,929 千円

◆平成27年度人件費

16,040 千円

◆事業費の主な内訳

- | | |
|--------------|-----------|
| ①地域福祉推進事業 | 2,867 千円 |
| ②社会福祉協議会補助事業 | 94,639 千円 |
| ③支え合いマップ策定事業 | 451 千円 |

6 事業の成果【成果指標①】

◆事業の成果指標

研修の開催

◆事業の成果目標

1回

◆事業の成果実績

1回

◆成果指標、目標等の設定理由

部内の職員を対象に、先進地での取組に実際に参加し体験できる機会として研修を開催する。

6 事業の成果【成果指標②】

◆事業の成果指標

社会福祉協議会会員数

◆事業の成果目標

7,600人

◆事業の成果実績

7,347人

◆成果指標、目標等の設定理由

社会福祉協議会が実施する個々の事業への補助ではなく、人件費も含めた法人全体の運営に対する補助であるため、客観的指標として会員数としている。

6 事業の成果【成果指標③】

◆事業の成果指標

住民による支え合いマップの策定

◆事業の成果目標

新たにマップ策定に取り組む地域の増 年間1～2か所

◆事業の成果実績

新規マップ策定地域 2か所

◆成果指標、目標等の設定理由

地域で見守り、支え合う仕組みを構築するため、そのツールとしてマップ策定を位置づけ、策定に取り組む地域を増やしていく。

7 環境変化

◆近隣市町の取組状況や事業を取り巻く環境変化

平成27年度の事業実施にあたり、制度変更や事業取り巻く状況は変化は特になし。

8 事業の評価

◆事業の目標達成状況

各事務事業は目標を概ね達成している。

◆事務事業全体を見た課題

本事業は、性質の異なる事務事業を包括していることから、全体を通しての評価が困難である。

9 事業の今後の方向性

◆事業の成果を高めるための事務事業の方向性

個々の事業の方向性として、社会福祉協議会への補助については、法人全体への補助方式（現行）か事業ごとの補助方式か、どちらがより事業の効果が得やすいか、社会福祉協議会の意見、他市町の状況などを踏まえ検討を進めていく。

外部評価対象事業(A票) 基本情報調査票

| | | | |
|---------------------------|--|--------|--|
| 事業番号 | 36 | 事業名 | 地域福祉推進事業 |
| 担当部・課 | 福祉部 福祉施策課 | 事業開始年度 | ①地域福祉推進事業 平成24年度 ②社会福祉協議会補助事業 昭和62年度 ③支えあいマップ策定事業 平成26年度 |
| 事業開始の背景、経緯 | ①地域福祉推進事業 今後の少子高齢・人口減少社会へ対応できる施策を検討するため、福祉行政推進のための政策研究、相互連携を図ることを目的とした市町村長をメンバーとする組織である一般社団法人福祉自治体ユニットに現市制発足時に加入。 ②社会福祉協議会補助事業 社会福祉法人長久手町社会福祉協議会(当時)の設立当初(昭和62年)から、行政と協働して地域の福祉ニーズに取り組む公益性、公共性の高い団体として、その運営・事業に要する費用を補助。 ③支えあいマップ策定事業 『長久手市地域福祉計画』の基本施策である「お互いを知り合える地域づくり」、「みんなに役割と居場所がある地域づくり」に基づき、地域での助け合い、支え合いの土壌を形成するツールとして事業化。 | | |
| 事業概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | 市政方針である一人ひとりの幸福度が高い「日本一の福祉のまち」を目指し、 ・新たな課題に対応した事業創設のための取り組み(会合や体験研修への参加) ・地域福祉推進のため、地域に根ざした活動等に対する補助 ・住民による地域の体制作り等を実施。 | | |

外部評価対象事務事業（B票） 基本情報調査票①

| 事業名 | 地域福祉推進事業 | 事務事業名 | 地域福祉推進事業 |
|--------------------------------|--|--------|----------|
| 事務事業開始年度 | ①福祉自治体ユニット 平成24年度 ②職員体験研修の実施 平成24年 | 今後の方向性 | 継続 |
| 事務事業開始の背景、経緯 | <p>今後の少子高齢・人口減少社会へ対応できる施策を検討するため、福祉行政推進のための政策研究、相互連携を図ることを目的とした市町村長をメンバーとする組織である一般社団法人福祉自治体ユニットに現市政発足時に加入。</p> | | |
| 事務事業概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>介護・医療をはじめとする福祉制度の動向や課題について情報収集し、制度改正等に伴う検討や新しい福祉施策づくりに活用するため、会議、勉強会、情報交換会等に参加したり、先進地での取り組みを実際に体験する。 (1)福祉自治体ユニット (2)職員体験研修の実施</p> | | |
| 今後の方向性の概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>情報収集、意見交換の会合や体験研修への参加が、直ちに新しい施策の企画、立案、事業化につながるものではないが、こうした機軸を増やしていくことで、職員一人ひとりの見識を高め、ひいては行政運営の発展に寄与することから、積極的に機会を設けていく。</p> | | |

外部評価対象事務事業(B票) 基本情報調査票②

| 事業名 | 地域福祉推進事業 | 事務事業名 | 社会福祉協議会補助事業 |
|--------------------------------|--|--------|-------------|
| 事務事業開始年度 | 昭和62年度 | 今後の方向性 | 継続 |
| 事務事業開始の背景、経緯 | <p>社会福祉法人長久手町社会福祉協議会(当時)の設立当初(昭和62年)から、行政と協働して地域の福祉ニーズに取り組む公益性、公共性の高い団体として、その運営・事業に要する費用を補助。</p> | | |
| 事務事業概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>長久手市社会福祉協議会が社会福祉法に規定する事業(以下参照)を実施するために必要な経費を補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉を目的とする事業の企画及び実施 ・社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成 ・そのほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発展を図るために必要な事業 | | |
| 今後の方向性の概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>・地域福祉の推進に大きく寄与しているものの、その活動が住民に十分浸透していない部分もあり、会員数の減少が見られる。</p> <p>・また、既存事業の見直しや自主財源の確保に努め、経営の健全化、安定化を図っていく必要がある。</p> | | |

外部評価対象事務事業（B票） 基本情報調査票③

| 事業名 | 地域福祉推進事業 | 事務事業名 | 支えあいマップ策定事業 |
|--------------------------------|---|--------|-------------|
| 事務事業開始年度 | 平成26年度 | 今後の方向性 | 継続 |
| 事務事業開始の背景、経緯 | 『長久手市地域福祉計画』の基本施策である「お互いを知り合える地域づくり」、「みんなに役割と居場所がある地域づくり」に基づき、地域での助け合い、支え合いの土壌を形成するツールとして事業化。 | | |
| 事務事業概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | 住民が集まり、地域の課題が「どこに」あるか、「困っている人は誰とつながりがあるか」などを話し合い、実際の地図に書き込んで行くことで、地域の課題を把握し、地域で見守っていく気運を高める。 | | |
| 今後の方向性の概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民が中心となって行う事業であることから、協働は達成できている。 ・市の関与が無くなることで、マップ策定が途切れることのないよう、一定期間は支援を行う必要がある。 | | |

⑧

ごみ啓発事業

【環境課】

資料

外部評価実施日：平成28年9月29日（木）

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

| | | | | | | |
|------|----|---|-----|--------|------|------------|
| 事業番号 | 22 | - | 事業名 | ごみ啓発事業 | 担当部課 | くらし文化部 環境課 |
|------|----|---|-----|--------|------|------------|

| | | | | | | |
|------|--------------|--------|-----|-----------------------|--|--|
| 基本情報 | 総合計画 | 基本方針 | (1) | 万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち | | |
| | | 分野別項目 | (2) | ごみの減量化・資源化を進める | | |
| | | 施策の進め方 | (1) | ごみの減量化・資源化 | | |
| | まちづくり 行程表 | フラッグ | | | | |
| | | 政策分類 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|-------------|--|--------|--------|---|--|
| 事業目的等 | 事業内容 | (どのような事業なのか) ごみ啓発事業として、次のものを実施 ①愛・Nクリーン ②リサイクルマーケット ③環境フェア ④コンポスト等購入補助 | | | | |
| | 事業対象 | (誰、何を対象にしているか) 市民 | | | | |
| | 事業意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 5R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)に対する関心を高め、ごみの減量や分別などのマナーの向上を図る。 | | | | |
| | 事業を構成する事務事業 | ① | ごみ啓発事業 | 改善・見直し | ④ | |
| | ② | | | ⑤ | | |
| | ③ | | | ⑥ | | |

| コスト推移 | 項目 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-------------|--------|----|----|------|------|------|-------|
| | 事業費(A) | | 千円 | 予算 | / | / | / |
| 決算 | | | | / | / | / | 2,571 |
| 人件費(B) | | 千円 | 決算 | / | / | / | 5,347 |
| 総コスト(A)+(B) | | 千円 | 決算 | / | / | / | 7,918 |

| 成果推移 | 成果指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|--|------|--------|----|------------|------------|------------|------------|------------|
| | A | ごみの排出量 | kg | 目標 | 13,964,579 | 14,143,575 | 14,417,031 | 14,667,599 |
| 実績 | | | | 14,143,010 | 14,312,769 | 14,018,403 | 13,694,272 | |
| B | | | 目標 | | | | | |
| C | | | 目標 | | | | | |
| | | | 実績 | | | | | |
| 【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など) | | | | | | | | |
| A 5Rを推進することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定 | | | | | | | | |
| B | | | | | | | | |
| C | | | | | | | | |

| | | |
|------|-----------------------|---|
| 環境変化 | 他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 | (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市民の5Rに対する関心は高まってきている。 |
|------|-----------------------|---|

| | | |
|----|-------------|---|
| 評価 | 目標達成状況 | (成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標値は達成できている。 |
| | 事務事業全体を見た課題 | (構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 学生、単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われる市民に対しての啓発 |

| | |
|--------|---|
| 今後の方向性 | (事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発事業を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていく。 |
|--------|---|

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 **ごみ啓発事業**

| | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 番号 | ① | 事務事業名 | ごみ啓発事業 | | | | | | | | | | |
|----|---|-------|--------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

1. 事務事業の目的

| | |
|-------|---|
| 対象・手段 | (誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) ごみ啓発事業として、次のものを実施 ①愛・Nクリーン ②リサイクルマーケット ③環境フェア ④コンポスト等購入補助 |
| 意図 | (対象をどのような状態にしたいか) 5R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)に対する関心を高め、ごみの減量や分別などのマナーの向上を図る。 |

2. コスト推移

| 項目 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|-----|----|----|------|------|------|-------|
| 事業費 | 千円 | 予算 | | | | 3,378 |
| | | 決算 | | | | 2,571 |

3. 活動推移

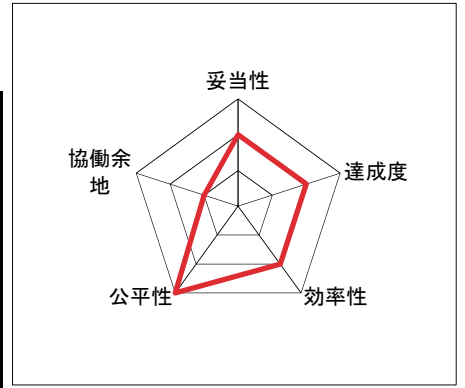
| 活動指標 | 単位 | 区分 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 |
|----------------|----|----|------|-------|-------|-------|------|
| 愛・Nクリーン参加者数 | 人 | 目標 | 500 | 500 | 1,000 | 1,000 | |
| | | 実績 | 442 | 1,138 | 1,002 | 990 | |
| リサイクルマーケット参加者数 | 人 | 目標 | 500 | 500 | 500 | 500 | |
| | | 実績 | 約450 | 約500 | 約500 | 約400 | |

4. 事務事業を取り巻く環境変化

| |
|------------------------|
| (制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) |
| 市民の5Rに対する関心は高まってきている。 |

5. 評価

| 項目 | 評価 |
|------|----|
| 妥当性 | 2 |
| 達成度 | 2 |
| 効率性 | 2 |
| 公平性 | 3 |
| 協働余地 | 1 |



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発事業を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていく。

ごみ啓発事業



長久手市ごみ減量キャラクター
みずりー

くらし文化部環境課

1 事業概要

◆事業の名称

ごみ啓発事業

◆事業を開始した年度

昭和63年度

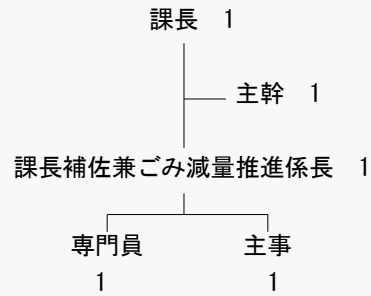
◆事業の開始の背景、経緯等

環境保全及びごみの減量化対策の一環として、家庭から出るごみを自ら処理することを推進するため、生ごみの堆肥化容器の販売に対し、予算の範囲内において補助金の交付を始めた。

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

くらし文化部環境課



3(1) 事業目的等

◆事業内容（どのような事業なのか）

ごみ啓発事業として、次のものを実施

- ①愛・Nクリーン
- ②リサイクルマーケット
- ③環境フェア
- ④コンポスト等購入補助

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市民、事業者

3(2) 事業目的等

◆事業意図（対象をどのような状態にしたいか）

5 R（リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ、リペア）に対する関心を高め、ごみの減量や分別などのマナーの向上を図る。

◆事業を構成する事務事業

- ① ごみ啓発事業



リデュース
Reduce

発生抑制 ごみになるものを減らし、生活のダイエットをすること。
ものを大切に長く使い、最後まで使い切ること。

リユース
Reuse

再使用 そのままの形状で再度使用すること。
例えば、お下がり、バザーなど。

リサイクル
Recycle

再生利用 形状を変え再度利用すること。
ペットボトルからフリースを作ることなど。

リフューズ
Refuse

断る 必要のないものを断ること。
買い物袋持参、マイ箸など。

リペア
Repair

修理 衣類、家具などを修繕しながら大切に使うこと。

4(1) 事務事業の目的・活動状況【事務事業①】

◆事業を構成する事務事業

ごみ啓発事業

◆目的（対象・手段、意図）

ごみ啓発事業として、次のものを実施

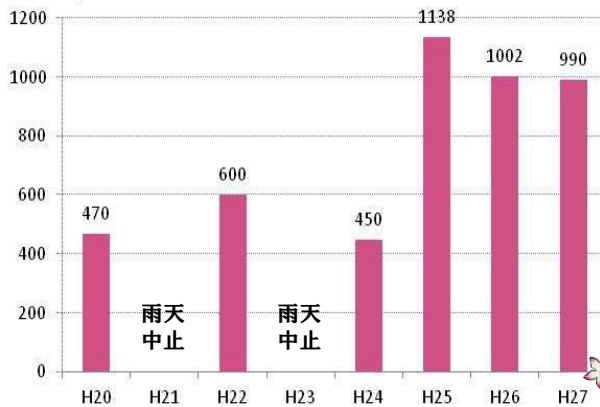
- ①愛・Nクリーン
 - ②リサイクルマーケット
 - ③環境フェア
 - ④コンポスト等購入補助
- 5Rに対する関心を高め、ごみの減量や分別などのマナーの向上を図る。

◆事務事業の活動状況

愛・Nクリーンは、平成15年度から年に1回開催。
リサイクルマーケットは、平成3年度から年に1～2回開催。
年に1回程度開催する環境フェア等でのごみ減量啓発。

愛・Nクリーン参加者数の推移

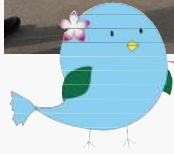
(単位:人)



平成26年度から、自治会主導
に変わったんだ。



リサイクルマーケット (H27 アピタ長久手店屋上)



約400名もお客さんが来てくれたよ。



ごみ減量啓発事業いろいろ

- ・環境フェア等でのごみ分別クイズ・ゲーム
- ・ごみ処理基本計画のパネル展示
- ・ごみ処理場見学ツアー
- ・エコッキング教室 などなど

| | | | |
|------------------------|--------------|-----|----------------|
| 生ごみ堆肥化容器等 購入補助(H27) | ・コンポスト | ・・・ | 1基 (累計1,158基) |
| | ・生ごみ処理機 | ・・・ | 9基 (累計 546基) |
| | ・生ごみ発酵用密閉バケツ | ・・・ | 11基 (累計1,246基) |

4(2) 事務事業の評価・今後の方向性【事務事業①】

◆事務事業の評価

学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われる市民に対して啓発していく必要がある。

◆事務事業の今後の方向性

改善・見直し

◆事務事業の評価に対するコメント

大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発事業を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていく。

なごみ Na-Gomi



H25.4
発足

ステイ
ツアー

ごみ減量啓発
事業の企画

市の環境事業
への参加

ごみ減量キャラ
クターの作成

キャラクター
事業の展開

...





5 コスト

◆平成27年度事業費

2,571,000円

◆平成27年度人件費

5,347,000円

◆事業費の主な内訳

| | |
|--------------------------|------------|
| 消耗品費 (不法投棄禁止看板、啓発物品等) | 90,535円 |
| 損害保険料 | 16,210円 |
| 生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 | 22,000円 |
| 生ごみ処理機購入費補助金 | 164,600円 |
| 資源回収奨励金 | 2,276,400円 |

6 事業の成果【成果指標①】

◆事業の成果指標

ごみの排出量

◆事業の成果目標

平成27年度14,667,599kg

◆事業の成果実績

平成27年度13,694,272kg

◆成果指標、目標等の設定理由

5Rを推進することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定。

7 環境変化

◆近隣市町の取組状況や事業を取り巻く環境変化

市民の5Rに対する関心は高まってきている。

エコハウス利用者数

H25 142,536人

H26 164,687人（前年比16%増）

H27 174,282人（前年比 6%増）

8 事業の評価

◆事業の目標達成状況

成果指標の目標値は達成できている。

◆事務事業全体を見た課題

学生、単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われる市民に対しての啓発

9 事業の今後の方向性

◆事業の成果を高めるための事務事業の方向性

大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発事業を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていく。



外部評価対象事業(A票) 基本情報調査票

| | | | |
|---------------------------|--|--------|--------|
| 事業番号 | 23 | 事業名 | ごみ啓発事業 |
| 担当部・課 | くらし文化部環境課 | 事業開始年度 | 昭和63年度 |
| 事業開始の背景、経緯 | <p>環境保全及びごみの減量化対策の一環として、家庭から出るごみを自ら処理することを推進するため、生ごみ堆肥化容器(コンポスト)1基につき3,000円、1世帯2基まで補助事業を開始しました。</p> <p>ごみ啓発事業としては、以前から行っていますが、昭和63年度に初めて補助事業を始めています。</p> | | |
| 事業概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>①愛・Nクリーンは、各小学校区等において行う地域清掃活動、ごみ拾い活動です。 平成15年度から年に1回開催しています。 平成24年度までは、6つの小学校区を持ち回りで行っていました。 平成25年度からは、すべての小学校区で一斉に行っています。 参加者数は、平成25年度から毎年1,000人前後を推移しています。</p> <p>②リサイクルマーケットは、家庭で不要品となったものを売買するものです。 平成3年度から年に1～2回開催しています。 平成27年度は、11月にアピタの屋上駐車場で開催し、約400人の参加がありました。</p> <p>③環境フェアは、様々な市民環境団体が参加しており、その中でクイズやゲーム等によってごみ減量啓発を行いました。</p> <p>④コンポスト等購入補助は、平成27年度は、生ごみ堆肥化容器(コンポスト)1基、生ごみ処理機9基、生ごみ発酵用密閉バケツ11基の補助を行いました。</p> <p>生ごみ堆肥化容器(コンポスト)は、昭和63年度から実施しており、累計1,158基、生ごみ処理機は、平成12年度から実施しており、累計546基、生ごみ発酵用密閉バケツは、平成10年度から実施しており、累計1,246基となっています。</p> | | |

外部評価対象事務事業（B票） 基本情報調査票①

| 事業名 | ごみ啓発事業 | 事務事業名 | ごみ啓発事業 |
|--------------------------------|--|--------|--------|
| 事務事業開始年度 | 昭和63年度 | 今後の方向性 | 改善・見直し |
| 事務事業開始の背景、経緯 | <p>環境保全及びごみの減量化対策の一環として、家庭から出るごみを自ら処理することを推進するため、生ごみ堆肥化容器（コンポスト）1基につき3,000円、1世帯2基まで補助事業を開始しました。</p> <p>ごみ啓発事業としては、以前から行っていますが、昭和63年度に初めて補助事業を始めています。</p> | | |
| 事務事業概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>①愛・Nクリーンは、各小学校区等において行う地域清掃活動、ごみ拾い活動です。 平成15年度から年に1回開催しています。 平成24年度までは、6つの小学校区を持ち回りで行っていました。 平成25年度からは、すべての小学校区で一斉に行っています。 参加者数は、平成25年度から毎年1,000人前後を推移しています。</p> <p>②リサイクルマーケットは、家庭で不要品となったものを売買するものです。 平成3年度から年に1～2回開催しています。 平成27年度は、11月にアピタの屋上駐車場で開催し、約400人の参加がありました。</p> <p>③環境フェアは、様々な市民環境団体が参加しており、その中でクイズやゲーム等によってごみ減量啓発を行いました。</p> <p>④コンポスト等購入補助は、平成27年度は、生ごみ堆肥化容器（コンポスト）1基、生ごみ処理機9基、生ごみ発酵用密閉バケツ11基の補助を行いました。</p> <p>生ごみ堆肥化容器（コンポスト）は、昭和63年度から実施しており、累計1,158基、生ごみ処理機は、平成12年度から実施しており、累計546基、生ごみ発酵用密閉バケツは、平成10年度から実施しており、累計1,246基となっています。</p> | | |
| 今後の方向性の概要 ※できるだけわかりやすく詳細に記入 | <p>愛・Nクリーンは、平成25年度から各小学校区において行うようになり、参加者も増えています。</p> <p>リサイクルマーケットや環境フェア等においても、多くの参加いただいています。</p> <p>しかし、イベントへの参加者やごみの組成調査等から推察すると、学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われます。</p> <p>そのため、事務事業の評価は、学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われる市民に対して啓発していく必要があるとし、事務事業の今後の方向性は改善・見直しとしました。</p> <p>事務事業の評価に対するコメントとしましては、大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発活動を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていくとしました。</p> | | |